

経営比較分析表（平成28年度決算）

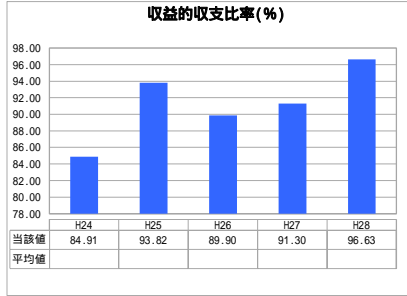
佐賀県 鹿島市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	35.06	94.20	2,592

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
30,205	112.12	269.40
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
10,504	3.12	3,366.67

グラフ凡例
当該団体値(当該値)
類似団体平均値(平均値)
【】平成28年度全国平均

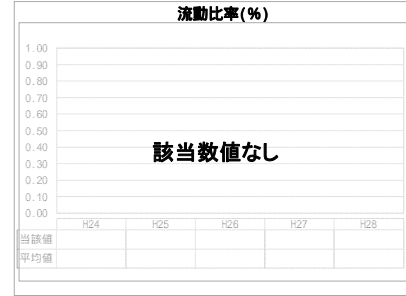
1. 経営の健全性・効率性



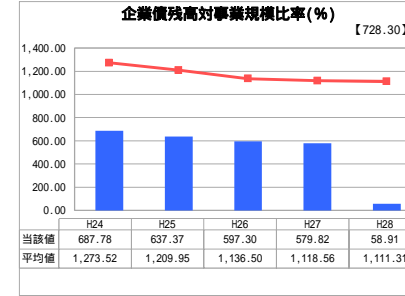
「単年度の収支」



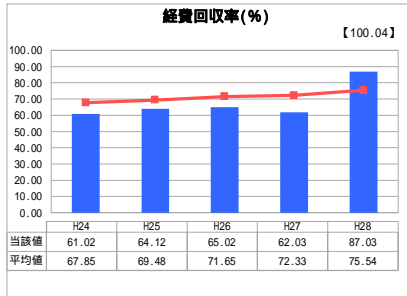
「累積欠損」



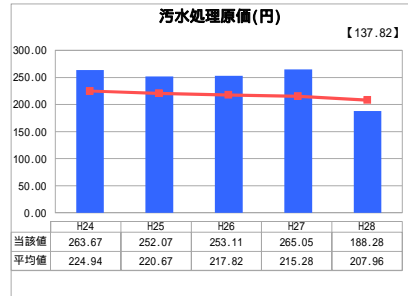
「支払能力」



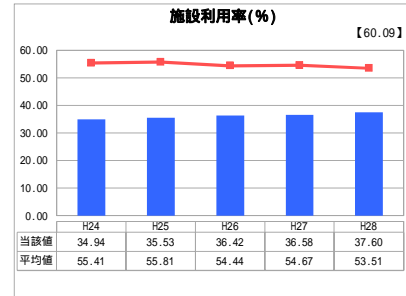
「債務残高」



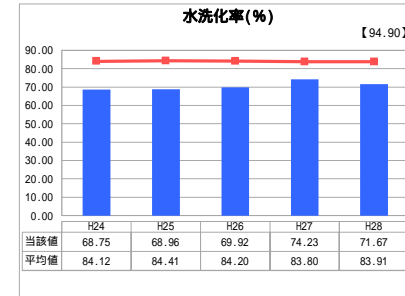
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

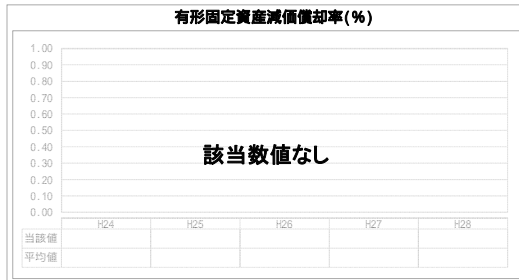


「施設の効率性」

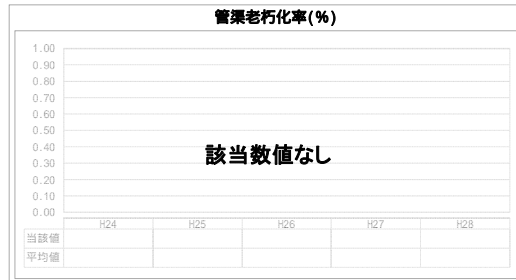


「使用料対象の捕捉」

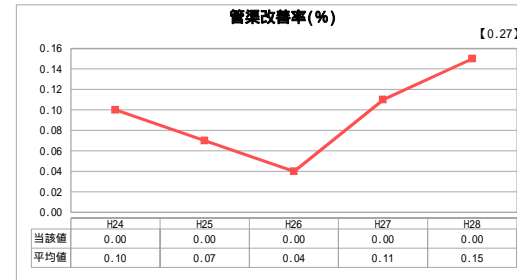
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

昭和61年度の事業開始以来、31年が経過していますが、事業進捗率(面積ベース)は47%と低い。施設利用率が類似団体平均値を下回っています。今回、一般会計繰入金の基準内・基準外の見直しにより、各種数値に改善傾向が見られるものの、厳しい経営実態は変わっていません。このため、汚水処理事業の平成38年度までの概成に向けて、汚水処理区域の縮小や官民連携手法(DB一括発注方式)の実施を検討中です。これで事業を進捗させ、接続者数(料金収入)を増やし、経営の効率性の向上を目指します。

2. 老朽化の状況について

平成6年度の供用開始以来23年が経過し、機械・電気設備に耐用年数を経過したものが出ていますが、これまで十分な更新を行っていないのが現状です。平成28年度に作成したストックマネジメント計画に基づいて、計画的な更新事業と点検調査事業を実施し、持続可能な下水道事業を目指します。

全体総括

本市の公共下水道事業は、雨水対策を優先して行ってきたため、汚水事業の進捗状況が遅く、浄化センターなどへの投資に身合う十分な接続者数を確保できていないことが、収益的収支比率・経費回収率・汚水処理原価・施設利用率の悪化につながっているものと分析します。今後は、平成29年3月に策定した経営戦略に基づき、全体計画区域を見直し早期概成を目指すとともに、接続者数を増やし経営の効率化に努めます。

法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。